

対象者（運用緩和）

- ・業歴3か月以上1年1か月未満の事業者
- ・前年以降の店舗増加などによって、単純な売上高などの前年比較では認定が困難な事業

中小企業信用保険法**第5号**の規定による認定申請に係る必要書類

商工政策課 （53-4361）

<認定要件>

- （1）運用緩和の対象に当てはまっている事業者。
- （2）災害の発生に起因して、当該災害の影響を受けた後、原則として最近1か月の売上高等と最近1か月及び前2か月の最近3か月間の平均売上高等を比較し、売上高等が5%以上減少していること。

必 要 書 類	部数
認定申請書	2
売上高計算書	1
認定要件を満たす売上高の確認できる書類 ※試算表、総勘定元帳など。売上高計算書の作成に用いた書類で、客観的根拠となるもの。	1
直近の確定申告書、決算報告書の写し	1
委任状 （※代理人が申請する場合）	1

認定権者記載欄		

様式第5-(イ)-⑩

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書(イ-⑩)
年 月 日

松阪市長 様

申請者
住 所 _____

氏 名 _____ 印

私は、_____業(注2)を営んでいるが、令和2年新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、_____ (注3)が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

売上高等

(イ) 最近1か月間の売上高等

$\frac{C-A}{C} \times 100$	主たる業種の減少率 _____ %
	全体の減少率 _____ %

A : 申込み時点における最近1か月間の売上高等

	主たる業種の売上高等 _____ 円
	全体の売上高等 _____ 円

B : Aの期間前2か月の売上高等

	主たる業種の売上高等 _____ 円
	全体の売上高等 _____ 円

C : 最近3か月間の売上高等の平均

$\frac{(A+B)}{3}$	主たる業種の売上高等 _____ 円
	全体の売上高等 _____ 円

(注1) 本様式は、業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、主たる事業(最近1年間の売上高等が最も大きい事業)が属する業種(主たる業種)が指定業種である場合であって、主たる業種及び申請者全体の売上高等の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

(注2) _____には、主たる事業が属する業種(日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名)を記載。

(注3) _____には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

松商第

号

申請の通り、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期間: _____年 _____月 _____日から _____年 _____月 _____日まで

認定者名 松阪市長 竹上 真人

認定権者記載欄		

様式第5-(イ)-⑩

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（イ-⑩）

年 月 日

松阪市長 様

申請者
住 所 _____

氏 名 _____ 印

私は、_____業（注2）を営んでいるが、令和2年新型コロナウイルス感染症の発生の影響に起因して、下記のとおり、_____（注3）が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

売上高等

（イ）最近1か月間の売上高等

$\frac{C-A}{C} \times 100$	主たる業種の減少率 _____ %
	全体の減少率 _____ %

A：申込み時点における最近1か月間の売上高等

	主たる業種の売上高等 _____ 円
	全体の売上高等 _____ 円

B：Aの期間前2か月の売上高等

	主たる業種の売上高等 _____ 円
	全体の売上高等 _____ 円

C：最近3か月間の売上高等の平均

$\frac{(A+B)}{3}$	主たる業種の売上高等 _____ 円
	全体の売上高等 _____ 円

（注1）本様式は、業歴3ヶ月以上1年1ヶ月未満の場合あるいは前年以降、事業拡大等により前年比較が適当でない特段の事情がある場合で、主たる事業（最近1年間の売上高等が最も大きい事業）が属する業種（主たる業種）が指定業種である場合であって、主たる業種及び申請者全体の売上高等の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

（注2）_____には、主たる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。

（注3）_____には、「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

（留意事項）

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

松商第

号

申請の通り、相違ないことを認定します。

（注）本認定書の有効期間： 年 月 日から 年 月 日まで

認定者名 松阪市長 竹上 真人

5号-(イ)-⑩ 認定申請内訳書【創業者等の運用緩和】

1 指定業種ごとの最近1年間の売上高

当社の主たる業種が属する事業は _____ (※1)

業種(※2)	最近1年間の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
全体の売上高	円	100%

※1 最近1年間の売上高が最大の業種名(主たる業種)を記載。主たる業種は指定業種であることが必要。

※2 業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

2 売上高の推移

[主たる業種の売上高] (円)

最近1か月	(年) 売上高実績
月	[A]
前2か月間	(年) 売上高実績
月	
月	
合計	[B]

[企業全体の売上高] (円)

最近1か月	(年) 売上高実績
月	[A']
前2か月間	(年) 売上高実績
月	
月	
合計	[B']

3 最近3か月間の主たる業種の売上高の平均(実績)

$$\frac{【A】 \text{円} + 【B】 \text{円}}{3} = 【C】 \text{円}$$

4 最近3か月間の企業全体の売上高の平均(実績)

$$\frac{【A'】 \text{円} + 【B'】 \text{円}}{3} = 【C'】 \text{円}$$

5 最近1か月の主たる業種の売上高の減少率(実績)

$$\frac{【C】 \text{円} - 【A】 \text{円}}{【C】 \text{円}} \times 100 = \text{ \% (5\%以上)}$$

(小数点第2位以下切り捨て)

6 最近1か月の企業全体の売上高の減少率(実績)

$$\frac{【C'】 \text{円} - 【A'】 \text{円}}{【C'】 \text{円}} \times 100 = \text{ \% (5\%以上)}$$

(小数点第2位以下切り捨て)

注) 認定申請にあたっては、営んでいる主たる事業が指定業種に属することが証明できる書類等(例えば、取り扱っている製品・サービス等を証明できる書類、許認可証など)や、上記売上高が分かる書類等(例えば、試算表や確定申告書等)の提出が必要。